

田んぼの水の話

琴丘小学校5年生を対象にした農業施設見学会は今年で連続9年目となりました。

5年生では6月の時期に社会科で農業用水等の学習をしており、学校側でも大変貴重な社会勉強になると喜ばれています。

活動内容は、最初に羽根川ダムにおいてテキストとパネルによって土地改良区の仕事と農業用水の仕組みや水利施設の役割・歴史等を説明し、質問に答えるという形で行いました。

その後の施設見学会は、用水の流れに沿って羽根川ダム・ため池・揚水機場・排水機場の順に施設を廻り、実際に運転操作等を体験してもらいました。参加した児童は施設の内部を見るのは初めての体験で、興味深そうな様子でした。

活動自体は毎年同じですが、参加児童が変わるので説明をする側も新たな気持ちで接することができます。

今後この活動を継続し、土地改良区と農業水利施設の果たす役割を児童や地域住民に理解してもらえようになりたいと考えています。



活動体制	
実施主体	水土里ネット琴丘（琴丘土地改良区）
後援・連携	三種町立琴丘小学校、三種町教育委員会
実施期間	6月18日
参加者	小学5年生35名、教師2名、土地改良区職員2名
報道関連	
活動実施年数	10年目（H17年～）
連絡先	〒018-2104 山本郡三種町鹿渡字中沢新田34-1 琴丘土地改良区 TEL. 0185-87-2277
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット琴丘（牧野 一）					
○活動の目標及び達成率	目標	土地改良区及び農業水利施設に対する社会認識の向上			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	「田んぼの水はどこからどこへ」というテーマで、琴丘小学校の5年生を対象に毎年開催している。見学の前に地域の主要水源である羽根川ダム湖水館において水の流れや水土里ネットの仕事について説明し、その後主要農業施設をバスで巡回し、役割や仕組みを生徒に教えると共に操作体験をしてもらっている。実施可能な範囲内での活動を継続しており、児童・父兄・学校からの評価もあると感じている。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	C	他組織との連携は十分とは言えない。
①役職員・組合員の参加	B	理解が十分浸透しているかは不明。	③運動の計画性	A	盛り込むようにしている。
②後継者育成の工夫	B	引き継ぐべき職員は確保している。	4. 運動の成果		
2. 活動の興味性について			a. 組織活性化	C	組織の活性化までには至っていない。
①基本理念の設定	A	土地改良区及び農業水利施設の役割を伝えている。	b. 地域農業	C	間接的に地域農業振興のために活動している。
②地域の歴史等の伝承	A	地域の農業水利施設を対象としている。	c. 地域コミュニティー	B	それなりの関わりと貢献はしているのではないかと感じる。
③運動の先駆性	B	運動の理念や関連性を考えている。	d. 地域資源管理	C	地域資源の保全強化のために少しは貢献している。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	無理のない運動を心掛けている。			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他